

子育て支援連絡協議会だより

「子育てワンポイントアドバイス」

第63回 「小言が増えないようにするには」 こころの相談員 前田 里美

不登校の前兆として「朝起きるのをぐずる」「朝になると腹痛を訴える」「朝食をダラダラと時間をかける」等が目立ち、親の小言が増えて朝のバトルが繰り返される悪循環になります。そんな朝の光景が習慣化されないよう、どう対処すればいいでしょうか。

- ①親子のさりげない雑談ができていますか？子どもが喜ぶテレビや遊びなどの話なら何でもOKです。
- ②子供が会話の主導権を取っていますか？子どもが好きな話題ではどんどん話し、親はしっかり聞き役に回っていますか？親の価値観を言い過ぎて子どもの腰を折ってはいませんか？子どもの表情がイキイキして話に勢いがあるのが目安です。
- ③自己主張、批判や文句も言えていますか？嫌な思いも吐き出せばスッキリします。
自分の思いを言葉にできるのは成長の証しです。しっかり受け止め聞き役に徹しましょう。
- ④不安と向き合う力はついていますか？外に出て不安に弱く、人の影響を受けやすい子も多いです。
また、明るく振る舞っている子でも内心は不安や迷いでいっぱいです。
そんな子どもの不安一つ一つにしっかり向き合い、子どもが自分でその不安を乗り越えていける力をつけていきましょう。いつも親が隣に居て守ってあげることはできないし、実は親だって不安でいっぱいなんですね。それでも親の不安は隠して、親がどっしりと構え、「大丈夫だよ。何とかなるさ。」と背中を押してあげてほしいなと思います。親の不安は、相談員や先生に話を聞いてもらって解消しましょう。

※前田相談員は、朝日小学校・中学校などで相談活動を行っています。

活動報告



★★★1月・2月の事業★★★

1月中旬、朝日町子育て支援連絡協議会では四日市市西日野のあけぼの学園で施設見学を行い、療育の現場を見てきました。



～あけぼの学園～

就学前の乳幼児の早期療育・保育の場です♪支援の必要なお子さまに対して専門機関や保育園・幼稚園と連携を図っています。



2月15日(火)
ポリオ予防接種の様子
(保健福祉センターにて)

